

施策	6201 商業の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	空き店舗への新規出店者						
施策が目指す姿	空き店舗対策の推進、商工団体との連携強化、商店街の活性化支援等を図る。						
成果指標	空き店舗への新規出店数 現状値 0店舗 H29年度目標値 10店舗						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [箇所]	予定	0.00	4.00	6.00	8.00	10.00
		実績	2.00	6.00			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	57,058	62,961	0	0	0
実績		56,087	62,986			0	
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標を達成するためには、空き店舗の減少に努めるとともに、商工団体と連携して中小企業への経営支援することが重要であり、本単位施策による貢献度は高い。					
	達成状況	支援制度の幅広い周知により成果指標は実績が予定を上回った。また、会議所と共同で空き店舗の情報収集を行い、商工会議所に空き店舗情報提供のホームページを開設した。					
	課題	補助対象区域外からの補助要望があり、市全体のまちづくりの観点から補助対象区域の見直しの検討が必要である。					
	取組方針	商工団体及び市関係課と連携を図り、情報収集に努め、新規出店者に認識されるよう広く周知することで制度の利用促進を図り、商店街の活性化支援等を推進する。					
外部評価	<p>商工会議所の空き店舗情報サイトの開設や各種補助制度の普及により成果指標の実績が順調に推移していることは評価できる。</p> <p>しかし、現状としては依然として市内各所に空き家、空き店舗が目立っており、市のイメージダウンにもつながりがねない。市内を万遍なくやるのか、計画的に集中して着手するのか、市民の同意を得ながら進めていかなければならないと思われる。また、こうした現状を鑑みると、本施策に紐付く事務事業が少なく感じられる。無予算事業等も多く実施されていると思われるので、次回の進捗管理までに評価票を作成のこと。</p> <p>市内中心部の動きとして、空き家や空き店舗をリノベーションしてカフェや雑貨店を開業する若者が見受けられるようになった。税制優遇制度やSNS活用による若者の起業支援策を具体的に検討されたい。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	306202	産業振興補助事業費(大平)				11,575	100
	306203	産業振興補助事業費(藤岡)				6,450	100
	306204	産業振興補助事業費(都賀)				8,980	100
	306205	産業振興補助事業費(西方)				5,616	100
	306206	産業振興補助事業費(岩舟)				12,200	95
	300902	買い物代行サービス委託費				1,750	90
	306201	産業振興補助事業費(栃木)				9,071	85
	300101	商工観光課一般経常事務費(栃木)				3,662	1
	300102	産業振興課一般経常事務費(大平)				2,882	1
	300103	産業振興課一般経常事務費(藤岡)				75	1

